



平成 17 年 8 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 竹 内 透
(コード番号 8692 東証・大証2部)
問合せ先 執行役員企画開発部長 風 神 浩 三
(TEL 03 - 3666 - 9169)

大阪証券金融との業務提携および資本提携に関するお知らせ

株式会社だいこう証券ビジネス(代表取締役社長:竹内 透、東京本部:東京都中央区日本橋兜町14-9、本社:大阪市中央区北浜2-4-6、以下「DSB」)は、平成17年8月30日開催の取締役会において、大阪証券金融株式会社(代表取締役社長:大津 隆文、本店:大阪市中央区北浜2-4-6、以下「大証金」)との業務提携および資本提携に関して下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本提携の目的

DSBは、発行会社の株式事務代行を行なう名義書換代理人業務に加え、証券会社のバックオフィス事務の全過程を一貫して提供する「日本版クリアリングファーム事業」を展開し、総合証券代行のトップ企業として証券市場のインフラストラクチャーの役割を果たしております。

また大証金は、証券取引法に基づく免許金融機関として「証券のための金融、証券による金融」を担い、証券市場の発展に貢献するため、大阪を基盤に証券金融事業を全国展開しております。

証券界では「貯蓄から投資へ」の政策の下、証券制度改革が進められており、株式の電子化や証券決済の一連のプロセスを自動化するSTP化は、決済リスクや決済コストの低減を徹底して、証券市場の国際競争力を高めようとするものです。

DSBは、市場執行業務を始め様々な施策を展開してまいりましたが、今回さらに広範囲なサービスを提供することを目的として、大証金と業務提携を進めることにいたしました。この業務提携は、今後両社が連携して事業展開を行なうことにより、それぞれが得意とする事業分野でより高い成果を追求するとともに、証券会社のバックオフィス業務から証券金融までの一元的なサービスを提供する、新しいビジネスモデルの構築を目指すものであります。

我が国クリアリング業界のトップ企業であるDSBと証券金融の大手である大証金の業務提携は、両社の事業の強化拡大を図ることはもとより、両社協働でより高度な証券インフラ機能を提供することにより、広く証券業界の発展にも寄与するものと確信しております。

さらに、本業務提携をより効果的かつ強固なものとするために、併せて資本提携を行なうことに合意いたしました。

2. 業務提携および資本提携の内容

(1) 業務提携の内容

証券業界では、株券電子化を控え、ミドル・バックオフィス等のアウトソーシングの活用が共通の重要なテーマであると認識されてきております。こうしたアウトソーシング機能の位置付けが高まるのを受け、効率的かつ高機能なインフラ機能を両社が協働して提供してゆくため、両社合同の提携委員会を設置し、具体的内容の検討を進めてまいります。

(2) 資本提携の内容

DSBは、こうした業務提携をより強固なものとするため、大証金の発行済株式3,904,000株(発行済株式総数の10.1%)を野村土地建物株式会社から平成17年8月30日に取得いたします。

3. 提携先の概要（平成 17 年 7 月 31 日現在）

- (1) 商 号 大阪証券金融株式会社
- (2) 事 業 内 容 証券金融業
- (3) 設 立 年 月 昭和 8 年 9 月
- (4) 本 店 所 在 地 大阪府中央区北浜二丁目 4 番 6 号
- (5) 代 表 者 取締役社長 大 津 隆 文
- (6) 資 本 金 3,500 百万円
- (7) 従 業 員 数 68 名

4. 今後の見通し

本提携による今後の業績に与える見通しにつきましては、現段階では軽微であると考えております。

以 上